



# 桶川東中だより

☆★令和5年度★★☆

桶川東中学校通信 No.7 発行：11月17日（金）

## 「リスペクト」すること

校長 家徳 丈夫

10月28日に行われた文化発表会・校内音楽会では、本校生徒の皆さんのよさをまた一つ感じられた1日となりました。発表や展示、演奏を聞いて、これまで努力してきたことに感銘を受けましたので、閉会式の講評では、その姿勢を称して「全国でもトップレベル」と素直に感じたままを口にしました。このような学校で素晴らしい生徒の皆さんと共にいられることを幸せに思っています。今後もよい雰囲気、生徒の皆さんが成長していくことを期待しています。

さて、今月は「リスペクト」することについて、記します。言うまでもありませんが、学校での生活は、将来社会に出るために、教科等の学習だけでなく、人と関わり合うことを通してよりよいコミュニケーションなどを学ぶこと場として、とても重要です。長い人生を健やかに充実したものにするためには、人との関わり合いはとても大切なことだと考えます。今の世の中を見ると、お互いの考えを主張し合うあまり、争いごとやトラブルが数多くあり、いじめの問題が多く学校の起きている現状があります。このことは、自分のことだけを優先し、相手のことを理解しようとしなないことが原因となることが多くあるように思えます。自分のことを優先することは大切なことですが、「自分も相手も尊重（大切に）する」ことを意識することがもっと大切ではないでしょうか。そこで、キーワードとしてお互いを（自分も相手も）「リスペクト」することについて考えてほしいと思っています。以下の中学生が書いた作文から一人一人が感じてほしいので、紹介します。

### 「リスペクト アザース」 平成24年度第32回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞より

僕は、日本人の両親を持ちながら、アメリカのサンディエゴで生まれて、十歳半まで生活し、地元のデイケア（保育園）、プレスクール（幼稚園）、小学校に通った。その中で出会った先生たちが何度も口にした『respect others（リスペクト アザース）』という言葉は、今も僕の行動や考え方に大きな影響を与えている。

サンディエゴは、ロサンゼルス南にあり、メキシコの国境から一時間程度だったので、土地柄のせいか、クラスには、肌の色も髪の毛の色も本当にいろいろな人種の人が入った。僕が物心ついたときには、周囲にいろいろな人種の人たちがいるのが当たり前だったので、自分がまわりの人と違っていても当然だと思っていたし、それに対して深く考えることもなかったように思う。どこの国でも同じだと思うが、集団生活が始まると、誰かが意地悪をしたとか、誰かが誰かにいじめられたとか、いわゆる人間関係のトラブルが起ってくる。そんなとき、先生たちは必ず『リスペクト アザース』と言い、当事者に反省を促した。『リスペクト』の意味もはっきりわからない保育園や幼稚園の頃から、ことあるごとに繰り返し叩き込まれた。日本語にすると、「他の人のことを尊重しなさい」というような意味なのだが、今思うと「意地悪しないで、みんな仲良くしなさい」とか、「いじめはダメ」というそのときの行動を注意するのではなく、その行動を起してしまった根本の考え方を問題にしていることになる。

また、この言葉は僕が入っていたリトルリーグの監督やコーチもよく使っていた。選抜テストがない地元のリトルリーグでは、上手い選手と上手くない選手が混合して十二人でチームとして試合に臨まなくてはいけなかった。上手くない選手がフライをポロリと捕りそこなったとき、チーム全体が「おい、この下手くそ」と怒鳴りたくなる場面で、監督やコーチは『リスペクト アザース』と言った。やる気がなくてエラーをするのはもってのほかであるが、やる気があっても上手くできない選手はいるのである。この場合は、そこをわかってやれという意味だと思っている。実際、当時初心者だった僕は、この言葉を聞いて救われる気持ちになり、もっと上手くなるようにうんと頑張り、シーズン最後にはチームに少しは貢献できるようになった。

その後、僕は日本の小学校に通い始めた。周囲のみんなのおかげで生活にはすぐに慣れたが、同時に大きなカルチャーショックも受けた。一番驚いたことは、みんなが他の人と大きく違わないように、なるべく同じようになるように非常に気を遣っているように見えたことである。他人よりうまくいかないから目立たないようにしているのではなく、他人よりうまくできても目立たないようにしているように感じた。僕は最初のうち、そのノリがわからず今までどおり、自分が上手く出来たことを周りの人にも伝えていたら、「それは自慢だ」と言われて、なんとも悲しい気持ちになった。また、友達同士で相手の気持ちになれば絶対言えないような侮辱するようなひどい言葉を言い合っている、『冗談』と言ってうやむやにしていることにも驚いた。僕がよくわからない世界だった。僕が叩き込まれていた『リスペクト アザース』の世界はここにはなかった。

僕の限られた経験の話になるが、アメリカ（サンディエゴ）ではなぜそんなに『リスペクト アザース』を子どもの頃から叩きこんでいるのだろうか。それは、アメリカ社会がつい最近までひどい人種差別などを行ってきたことの反省からかもしれない。居住地区を制限したり、公園やバスなどの公共の場でも座る場所をわけていたり、差別することが当たり前で、一般人が差別したりされたりすることに何の疑問を持たずに時代が流れていた過去がある。そんな過ちをこれから先に繰り返さないように、子ども達に叩き込んだり、またそうすることによって、大人も自分自身を戒めているのかもしれない。

僕は日本でももっと、『リスペクト アザース』が浸透していけばいいと思う。日本は表面上差別のない社会なので、必要ないと思われるかもしれない。しかし、これこそが人権を考える上での基本だと思う。人権尊重の社会を作っていくのは、僕たちひとりひとりの考え方によるからだ。同じ人間は一人もいない。人と違っていることがまたその人の個性である。違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思う。

### 11月の生活目標

- ☆期末テストに向け、計画的に学習しよう
- ☆思いやり・感謝の気持ちをもって生活しよう

### 重点目標

- 自主学習の充実
- いじめを許さない

**新人戦県大会結果 地区代表として善戦しました！**



新人大会の結果を掲載

**駅伝班大会・県大会（10月16日・11月4日）**



写真を掲載

桶川東中の代表として、男子1チーム、女子2チームが班大会に出場しました。9月末から駅伝部として練習を重ねてきた成果を存分に発揮しました。女子Aチームは、班で2位（市内1位）で県大会への出場権を獲得しました。3年連続での快挙でした。県大会では、予選の総合タイムより短縮し、20位（63チーム出場）という結果でした。

桶川東中の代表として、男子1チーム、女子2チームが班大会に出場しました。9月末から駅伝部として練習を重ねてきた成果を存分に発揮しました。女子Aチームは、班で2位（市内1位）で県大会への出場権を獲得しました。3年連続での快挙でした。県大会では、予選の総合タイムより短縮し、20位（63チーム出場）という結果でした。

**文化発表会・校内音楽会（10月28日）**



写真を掲載

今年は午前中の文化発表会、午後の校内音楽会を全校生徒が参加することができました。

保護者の皆様には、入れ替え制をとらせていただきながら、参観いただきました。

文化発表会では、吹奏楽部の演奏、英語弁論発表、総合的な学習の時間の発表を行いました。

**【校内音楽会結果】**

	1年	2年	3年
最優秀賞	2組	4組	2組
	輝くために	群青	青い鳥
優秀賞	4組	1組・3組	1組
	空高く	虹・心の瞳	言葉にすれば
特別賞	マロニエ学級	ベル演奏「星に願いを」	

音楽会では、各クラス素晴らしい合唱を披露していました。最優秀クラス（1-2、2-4、3-2）が、11月8日（水）の市内音楽会に出場しました。

<お詫び>

当日の採点に一部誤りがあり、2年1組も3組と並んで優秀賞であることが分かりました。後日、校長から教室で賞状を授与しました。当日表彰できず、誠に申し訳ありませんでした。

**11月、12月の主な行事予定**

11月		
1	水	全校三者面談（～10日）
4	土	駅伝県大会（熊谷文化スポーツ公園）
8	水	市内音楽会（桶川市民ホール）
13	月	専門委員会
14	火	県民の日（学校閉庁日）
16	木	3年期末テスト
17	金	3年期末テスト
21	火	生徒総会、部活動休止（～28日）
22	水	地区音楽会（1-1参加、上尾市文化センター）
23	木	勤労感謝の日
24	金	薬物乱用防止教室
28	火	1・2年期末テスト、
29	水	1・2年期末テスト
12月		
4	月	3年三者面談（～8日）
5	火	学校運営協議会
7	木	市長あいさつ運動
14	木	マロニエ学級合同学習会（桶中）
15	金	1年スキー教室保護者説明会
18	月	2年修学旅行保護者説明会
20	水	給食終了
22	金	2学期終業式

**フッ化物洗口について**

10月から実施予定でしたフッ化物洗口ですが、インフルエンザの流行等があり、延期をしております。予定では、今月下旬に実施したいと考えております。なお、感染症等の影響により、再度延期をする場合もございますので、その際は改めてお知らせします。